

回復期リハビリテーション病棟協会の 看護・介護の 10か条に取り組んでいます

- ①食事は食堂やデイルームに誘導し、経口摂取への取り組みを推進しよう
- ②洗面は洗面所で朝夕、口腔ケアは毎食後実施しよう
- ③排泄はトイレへ誘導し、オムツは極力使用しないようにしよう
- ④入浴は週3回以上、必ず浴槽に入れるようにしよう
- ⑤日中は普段着で過ごし、更衣は朝夕実施しよう
- ⑥二次的合併症を予防し、安全対策を徹底し、可能な限り抑制は止めよう
- ⑦他職種と情報の共有化を推進しよう
- ⑧リハ技術を習得し生活の場のケアに活かそう
- ⑨家族へのケアと介護指導を徹底しよう
- ⑩看護・介護計画を頻回に見直しリハプログラムに反映しよう

取り組みを紹介します



①食事は食堂やデイルームに誘導し、 経口摂取への取り組みを推進しよう

ベッド上で食事を取らない事を
基本としています

車椅子・椅子に
座る

食事量が増える
経管栄養➡経口摂取

覚醒がよくなる

上手に飲み込める



経管栄養さんも食堂に
移動します

②洗面は洗面所で朝夕、 口腔ケアは毎食後実施しよう

清潔にして、口腔の機能維持をすることでの効果

口腔感染症
予防

誤嚥性肺炎
予防

コミュニケーション
機能回復

摂食・嚥下
障害改善

経口摂取の
促し

意欲向上

口腔内も
みせてね

必要に応じて歯科医（歯科衛生士を含む）も介入して口腔ケアを行います。



④入浴をして体を清潔にしよう

- ・患者さんの状態や能力に合わせた浴槽、補助具を選択し、入浴の自立に向けた支援をしています。
- ・入浴できることで清潔を保つことはもちろん、患者さんのQOLを上げることがができます。

寝台浴、車椅子浴、
訓練浴、自立浴、
など様々な入浴方法を考え
支援します



※健側・患側に合わせたどちらからも入れる形態

多職種での取り組み

- ・入浴時の更衣動作、移乗動作、入浴動作（洗体・洗髪・浴槽への出入り動作・浴槽内での姿勢保持など）の評価を行っています。
- ・多職種チーム（NS・CS・PT・OTなど）で検討、実施、評価を行っています。



⑤日中は普段着で過ごし、
更衣は朝夕実施しよう

私たちは取り組んでいます!



着替えることを大切にしています

回復期リハビリテーション看護の中で、『着替え』とは？

- 朝夕の区別が付き、生活にリズムを与えます
- 好きな服を着ることで気持ちが上がリ、リハビリに対して意欲的になれます
- 着替えの時は、できないところだけをお手伝いします。
時間がかかってもやりきることで患者さんは自信につながります





患者さんの表情が
明るくなりました。
患者さんは更衣を
することで、整容も
今まで以上に整える
ようになっています。

職員の意見



寝巻から
着替えることで
「リハビリやるぞ!」と
気分が上がるよ↗
自分がいつも着てい
る服はいいね😊

患者さんのご意見

最後に… 高齢者看護 身体拘束軽減について

①看護・介護の10か条の実現を目指し

その上で生活リズムを整える事を重視

余暇活動を充実

- ・コグニサイズ
- ・脳トレ
- ・集団体操
- ・レクリエーション
- ・工作
- ・スポーツ観戦
- ・動画鑑賞 など



②自分でできることを増やす・・・例えば

食事姿勢は 高さを変え 食事が見え

自力で食べることがができる 支援をします



③倫理観の醸成

多職種で毎月倫理検討会を開催し、多方面からの視点で分析し倫理観を高めます

倫理検討会には、法人内のがん専門看護師や臨床倫理認定士（上級認定アドバイザー）も参画します

④ユマニチュード®推奨

法人内のユマニチュード®インストラクターの指導のもと5つのステップを実践します

研修会で実技指導を受けます

現場で実践を評価し、良い対応を目指します

